

関係各位

## 第 10 回疲労懇話会のご案内

平成 27 年 6 月 吉日  
疲労懇話会  
代表世話人 小泉淳一  
片岡洋祐

謹啓 初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

疲労・ストレスは現代社会がかかえる大きな課題の一つです。昨年にメンタルヘルス対策の充実・強化を図るべく労働安全衛生法の一部が改正され、事業主に対する従業員のストレス検査を義務付ける法律が労働政策審議会にて認められ、通常国会にて成立しました。この改正法に従って本年 12 月よりストレスチェック制度がスタートいたします。

一方、日本疲労学会を中心として、疲労や疲労回復に関するメカニズムの解明が進み、その科学的な計測方法や分析方法も確立されつつあります。本年 5 月には山口大学の野島先生の主催で第 11 回日本疲労学会学術集会在開催され、疲労と酸化ストレスの関係について詳細なデータのご紹介もありました。来年は当懇話会の代表世話人である小泉先生の主催で第 12 回日本疲労学会学術集会在横浜みなとみらいで開催される予定です。

このような状況下、これまで関東と関西別々に開催しておりました疲労懇話会を一つに統一し、第 10 回疲労懇話会として、疲労やストレスに関わる領域の先生方に最新のデータや研究動向をご紹介いただくこと準備を進めているところでございます。また、当懇話会では、家庭用の小型疲労度計の試作器をはじめ、協賛各社の機器・商品の展示も行う予定です。

皆様方には、ご多用の時季とは存じますが、何卒ご参加賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

### 第 10 回疲労懇話会開催スケジュール

日時:平成 27 年 9 月 26 日(土) 13:00 ~ 17:00

内容	テーマ	発表者
基調講演	疲労の現状と客観的評価法	関西福祉科学大学学部長(大阪市立大学医学部客員教授、東京大学特任教授)倉恒弘彦先生
講演 2	うつ症状と疲労の関連について	静岡済生会病院精神科部長 榛葉 俊一先生
講演 3	主観的気分測定システム KOKORO スケールとその応用	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター・細胞機能評価研究チーム チームリーダー(医師) 片岡洋祐先生
講演 4	疲労ストレス測定の有用性～労働衛生の現場的観点から～	日本産業保健コンサルティング株式会社 医学博士(医師) 辻 典明先生
講演 5	疲労とユビキノール	株式会社カネカ 技術統括部(薬学博士) 藤井健志先生
パネルディスカッション	ご出席いただく先生方と会場に来場された方々との Q&A を予定しています。	

会場内にて賛助会員の皆様による疲労ストレス測定機器や解析ソフト、抗疲労商品などの展示説明会も実施予定です。

場所:東京都品川区大崎 1-2-1  
株式会社日立システムズ 2 階セミナールーム  
JR「大崎駅」より徒歩 3 分

参加登録費用:3,000 円(当日受付にて申し受けます)  
申込み:裏面の参加登録確認書に必要事項をご記入の上  
FAXにてお申込みください。



疲労懇話会組織

顧問： 板生 清（東京大学名誉教授）  
大久保堯夫（社団法人日本交通科学協議会会長）  
渡辺 恭良（理化学研究所分子イメージング科学研究センター センター長，  
大阪市立大学医学研究科特任教授）  
倉恒 弘彦（関西福祉科学大学教授，厚生労働省疲労研究班代表，  
東京大学特任教授）

代表世話人： 小泉 淳一（横浜国立大学教授）  
片岡洋祐（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター・細胞機能評価研究チーム  
チームリーダー）

世話人： 加茂登志子（東京女子医科大学教授）  
近藤 一博（東京慈恵会医科大学教授）  
酒井 一博（財団法人労働科学研究所所長）  
榛葉 俊一（静岡済生会病院精神科部長）  
局 博一（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）  
村上 正人（山王病院副病院長 元日本大学医学部教授 心療内科科長）

事務局：株式会社疲労科学研究所 株式会社FMCC 大阪市淀川区西中島 7-1-26 オリエンタル新大阪ビル 1406 TEL：06-6308-1085 FAX：06-6308-1086 メールアドレス info@fmcc.co.jp
--

# 疲労懇話会事務局宛

FAX : 06-6308-1086

## 第10回 疲労懇話会 9/26(土) 参加登録確認書

所属施設名	
ご芳名	
ご住所 (連絡先)	
e-mail	
お電話番号	



事務局：株式会社疲労科学研究所  
株式会社FMCC  
TEL：06-6308-1085  
FAX：06-6308-1086